

情報も高いところから低いところに流れます。

理事長 西河洋一

財団は昨年10月に設立して一年を迎え、新たに経営人財を育成するための『西河技術経営塾』を開校しました。3名の受講生でスタートしまして、財団の目指す方向に着実に進んでいることを嬉しく思っています。

毎月の勉強会やセミナーには多数の著名な講師に来て頂き私自身も大変勉強になり、この財団を設立して本当に良かったと感じております。

人の話を聞く時には先入観を捨て自分をあえて低い位置に置いて聞く

私は人の話を伺う際に心掛けていることが二つあります。一つは「川の水が高い所から低い所に流れるのと同じように情報も高い所から低い所に流れる」ので、人の話を聞く時には先入観を捨て自分をあえて低い位置に置いて聞くことにしています。下から見上げていないと求める情報は流れて来てくれませんし、聞いたとしても情報の重要性に気付かず、聞き流してしまうからです。

自分の能力以上の広くて大きな器を持って目線を低くして謙虚に話を聞く

もう一つは「聞くにあたっては器を大きくする」ことです。当然のことに大きな器には沢山の水が入りますが、小さな器には少しの水しか入りません。経営に関わる情報は、自分の能力以上の広くて大きな器を持って目線を低くして謙虚に話を聞くことが一番重要であると考えています。

大自然に身を置いて考えると、自然現象を通じて教えられる

経営は生き物です。常に変化をしています。変化を察知し、変化に対応していかなければなりません。私はいつも大自然から物事の未来を考える習慣があります。不思議なことですが、悩んだ時、大自然に身を置いて考えると、答えが自然現象を通じて教えられ解決します。

以上